

高齢者住宅(一人世帯用) 入居者を募集

申し込みは5月15日(水)まで

市の福祉住宅の空き家入居者を募集します。

- ◆募集住宅 1戸
- ◆募集集戸数 1戸
- ◆使用料など 使用料11月額2万400円、4万4,800円の間に所得額によって決定、共益
- ◆入居者の決定 抽選で当選・補欠になった方を対象に順次現地調査、収入審査などをしたうえで決定します。
- ◆高齢者支援室 内線2627

「自分でもハカバかいと思える考えなのに、それが絶えず頭に浮かんできて苦しい。だから、その考えを追い払おうとする。でも、追い払おうすればするほど、頭から離れなくなってしまふ」というような考えを、強迫観念と呼んでいます。たとえば、ある母親が自分の赤ちゃんと首を絞めて殺してしまうのではないかと考えるようになったり、また、もう一人、わが子を殺すなんて、そんなバカなことをするわけはないと自分でも思っている。でも、その考えが頭を浮かんで怖くなる、わが子

強迫性障害

強迫性障害とは、強迫観念と強迫行為を繰り返すことで、日常生活に支障をきたす状態をいいます。強迫観念とは、頭から離れなくなってしまふこと、強迫行為とは、強迫観念を解消しようとする行為のことです。強迫性障害の原因は、遺伝的要因、脳の化学物質のバランスの乱れ、ストレスなどが考えられています。治療には、薬物療法と認知行動療法が有効です。

(三鷹市医師会)

高齢者の入院見舞金が変わります

4月1日から、高齢者の入院見舞金の制度が変わりました。従来の制度では、入院期間が14日以上で、70歳以上の高齢者が、1日あたり10,000円(14日以上)を支払う必要がありました。新しい制度では、入院期間が14日以上で、70歳以上の高齢者が、1日あたり10,000円(14日以上)を支払う必要がなくなりました。

別表

	旧	新
最短入院日数	7日	14日
対象年齢	65歳以上	70歳以上
年度内の申請回数	制限無し	年度内に1回限り
支給金額	5,000円 (7日以上30日以内) 15,000円(31日以上)	10,000円(14日以上)

本人名義の口座番号(郵便局以外)の控え、④認印を持参し、高齢者支援室(市役所1階)へ申し込む。

◆経過措置 平成14年3月31日まで旧条例による入院見舞金の対象となつた方は、6月28日(金)までに申請すること、旧条例による見舞金が適用されず、なお、所得要件は従来通りです。

◆高齢者支援室 内線2627

高齢者のための「ほっとサークル」

「一緒に歌いましょう」NPO法でつなぐほっとサークルは、市と提携して、おむね65歳以上の高齢者の方と毎月さまざまな活動を行っています。5月15日の会です。なつかしい童謡や唱歌、心やすらぎ季節の歌を一緒に口ずさみませんか。

▼5月24日(金)午後1時～3時 スペース・S(下連番1丁目)で参加費500円。

▼5月7日(木)午前9時から同事務局長 042-4469へ申し込む。先着12人。

ひとりで悩んでいませんか？

民生委員、児童委員は地域の身近な相談役です。5月12日は、民生委員・児童委員の日です。市では現在、10人の民生委員・児童委員と7人の主任児童委員が地域福祉向上のために活動しています。

◆民生委員、児童委員の日 大正6年5月12日に岡山県でこの制度の前身である「済世顧問制度」が創設されたのを記念して定められました。

◆民生委員、児童委員 昭和22年の児童福祉法制定で、よりよい養育生活を送るためにせむいぶを、

◆対象疾患 進行性筋萎縮症・多発性硬化症・筋無力症・パーキンソン病・せき髄小脳疾患、そのほかの神経と筋肉の病気。

◆検診内容 ①はつきりした病名と症状の診断、②専門医への紹介、③かかりつけ医の紹介、④療養生活の指導と相談。

三鷹市医師会 春の無料難病検診

対象は神経痛でお悩みの方。専門医の的確な診断で、よりよい養育生活を送るためにせむいぶを、

◆対象疾患 進行性筋萎縮症・多発性硬化症・筋無力症・パーキンソン病・せき髄小脳疾患、そのほかの神経と筋肉の病気。

◆検診内容 ①はつきりした病名と症状の診断、②専門医への紹介、③かかりつけ医の紹介、④療養生活の指導と相談。

乳幼児健康相談のお知らせ

対象は0歳～4歳未満。乳幼児のお子さんの健康に関する相談を、栄養士、助産師、歯科衛生士、保健師などが行っています。

▼4月30日(木)～5月12日(水) 午前9時～午後4時(月曜日除く) 同会館に受診料1,000円を添えて申し込む。先着10人。

東京都地域健康づくり推進員養成コース 受講料と交通費を助成

東京都健康づくりセンターでは、地域で「健康づくり」を支援するリーダーを養成する講習会を開催しています。市では、健康づくりに関心があり、三鷹市および住民協会で活動する市民(住居を有する)を対象に、この講習会の受講料相当分(1千円)と交通費

5月の環境・食品衛生出張窓口

- 日時 5月30日(木)午後1時～4時
- 場所 総合保健センター別館
- 業務内容
 - ①環境・食品衛生の相談受付
 - ②食品関係営業許可の申請および変更届などの受付
 - ③環境衛生関係営業許可の申請および変更届などの受付
 - ④受水タンクをもつ水道水、井戸水、プール水の水质検査容器的無料配付(検査の受付は別途保健所でを行います。費用適否の検査料金は9,900円です。なお、プール水は項目別料金です)
- 問い合わせ先 三鷹武蔵野保健所生活衛生課 042-2161
- ※次回は6月27日(木)です。

三鷹武蔵野保健所

小指神経科医長の西條晴美さん。同保健所保健サービス課保健指導係 042-2161へ申し込む。

言葉の遅れ、運動の遅れ療育相談

対象は就学前のお子さん。保護者、言葉が遅い、運動発達が遅れているなど、療育上気になることありませんか? 専門医や保健師、歯科衛生士、栄養士が直接相談を受け、必要なアドバイスを行います。

▼5月9日(木)午後1時30分～3時30分、三鷹市総合保健センター1階。

講師は杏林大学保健学専攻教授の田島治さん。

▼4月30日(木)～5月12日(水) 午前9時～午後4時(月曜日除く) 同会館に受診料1,000円を添えて申し込む。先着10人。

いきいき大学 受講生募集

三鷹市社会福祉協議会主催。対象は60歳以上の市民で健康な方。

▼前期5月22日～7月24日、後期8月28日～10月2日の毎週水曜日(全16回)、午後1時30分～4時 福祉会館で。

「健康ガイドみたか」が市のHPにオープン

http://www.city.mitaka.tokyo.jp/kenkou/index.html

健康が気になったら、市の保健サービスで。総合保健センター 042-46-3254

健康ガイドみたか 14歳以上の市民は無料で利用可能。健康ガイドみたかでは、健康に関する様々な情報を提供しています。包括的ケア、予防ケア、健康づくり推進センター「ハイスピア」(新宿駅徒歩10分)。

▼5月29日(木)まで(総合保健センター)042-46-3254へ問い合わせるのを申し込む。定料相当分(1千円)と交通費

1 ◆南園定 042-323-0777